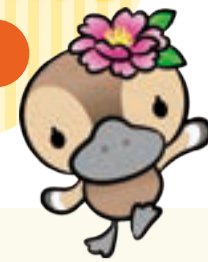


七福神めぐりで **福** をあつめよう

江東区の七福神

江東区観光協会発行
「こうとうトコトコ日和」

コラボ特集



深川七福神

ご開帳期間
1月7日(日)まで、9:00~17:00

詳細情報はここから



深川七福神
ホームページ



深川七福神
Instagram

ふかがわしんめいぐう
深川神明宮 寿老神
(森下1-3-17)

深川の開拓者である深川八郎右衛門が、後土御門天皇宸筆(ご自身で書きになった)の「大神宮」の短冊をご神体として建立したと伝わる深川で最も古い神社です。



えんじゆいん
圓珠院 大黒天
(平野1-13-6)

旗本の永見甲斐守の娘お寄の方が建立。木造の大黒天が安置され、江戸時代から「深川の大黒様」として親しまれています。

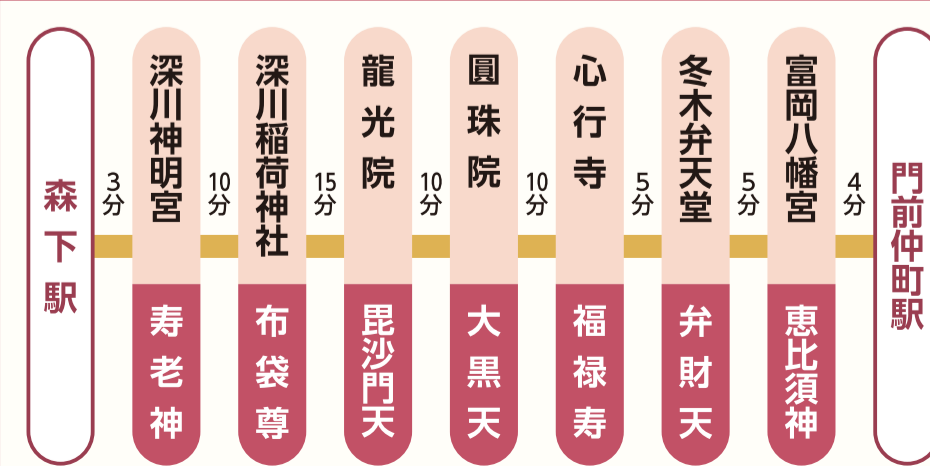


しんぎやうじ
心行寺 福祿寿
(深川2-16-7)

京橋八丁堀寺町に創建され、寛永10(1633)年に現在地に移転。岩国藩(山口県)主で錦帯橋を架橋した吉川広嘉の妻、養源院の開基。江東区に現存する最古の金石文(金属や石に刻まれた文字)や、江戸後期の歌舞伎役者 五世鶴屋南北のお墓などがあります。



深川七福神めぐりルート例



とみおかはちまんぐう
富岡八幡宮 恵比須神
(富岡1-20-3)

寛永4(1627)年に永代島に創建され、「深川の八幡様」として親しまれる江戸最大の八幡様。現在の大相撲の源流である勤進相撲発祥の地といわれ、境内には「横綱力士碑」「大関力士碑」などがあります。



どこから参拝しても数日に分けても問題ありません。時間は目安です。ご自身のペースでめぐりましょう。

深川七福神めぐりの福笹とお鈴
各寺社で神様のお鈴を預かり、福笹に飾りましょう
福笹1,000円、お鈴各300円

深川七福神めぐり色紙
七福神の色紙はどの寺社でも購入できます。
専用色紙1,000円、御朱印各100円(専用色紙のみ)

ふかがわいなりにんじんじや
深川稲荷神社 布袋尊
(清澄2-12-12)

旧町名の「西大工町」にちなみ、「西大稲荷」とも呼ばれる歴史のある神社。町会が管理する無住社(神職がない寺社)です。



りゅうこういん
龍光院 毘沙門天
(三好2-7-5)

日本橋馬喰町で創建。天和2(1682)年に深川に移転。鬼門除けとして毘沙門天を安置したと伝えられています。



ふゆきべんてんどう
冬木弁天堂 弁財天
(冬木22-31)

江戸初期、材木商冬木屋の上田直次が近江竹生島弁才天の分霊を日本橋茅場町の邸内に祀り、孫の弥平次がこの地に移したといわれています。



七つの災いを祓い、七つの福を授かるともいわれ、古くから信仰されている「七福神めぐり」。区内には、亀戸と深川の2か所で七福神めぐりができます。ぜひお正月にめぐってみてください。

「こうとうトコトコ日和2024冬号」には七福神めぐりをより楽しむための注目ポイントを掲載。区役所や出張所、文化センターなどで配布しています。ぜひご覧ください。
 〇 江東区観光協会
 (東陽4-5-18産業会館内)
 ☎6458-7400
 FAX6458-7420



観光協会
ホームページ



*神様のいわれには諸説あります。

七福神

それぞれの特徴とご利益をご紹介します

布袋尊	弁財天	福祿寿	毘沙門天	寿老人(寿老神)	大黒天(大国神)	恵比寿神(恵比須神)
						
軍配を手に持ち、袋を背負っています	琵琶(楽器)を持っています	長い頭に長い白髭、杖を持っています	甲冑を身に着け、矛や宝塔を持っています	白髭で經典付きの杖や桃を持っています	打ち出の小槌を持ち袋を背負っています	釣り竿と鯛を持っています
ご利益 笑門来福、家運隆盛など	ご利益 学徳成就、諸芸上達など	ご利益 幸福長寿、財運招福など	ご利益 降魔厄除、勝負必勝など	ご利益 延命長寿、家庭円満など	ご利益 五穀豊穡、商売繁盛など	ご利益 大漁豊作、商売繁盛など

亀戸七福神めぐり色紙
専用色紙500円、御朱印スタンプ各200円、香取神社は2体(恵比寿神、大国神)で500円

亀甲七福神手拭 1,000円

かとりじんじや
香取神社 恵比寿神・大国神
(亀戸3-57-22)

長い歴史をもつ神社。平将門の乱で依藤太秀郷の戦勝祈願が成就したことで評判になり、武運長久を祈ることが多くなったといわれます。現在は「スポーツ振興の神」として、勝利を願う多くのアスリートが訪れます。



てんそじんじや
天祖神社 福祿寿
(亀戸3-38-35)

推古天皇の時代に創建、聖徳太子作のご神体を祀ったとされます。織田信長の使者が流鏑馬を奉納して疫病の流行が収まったのが評判になり、毎年9月にこども歩射(的の前に立つて弓を射ること)が行われます。



りゅうげんじ
龍眼寺 布袋尊
(亀戸3-34-2)

江戸初期に百種類もの萩を植えたことから、通称「萩寺」として多くの文人墨客が訪れ、絵入りの江戸の地誌「江戸名所図会」にも描かれています。四季折々の花が心を和ませ、松尾芭蕉、落合直文らの句碑が風情を醸し出します。



ふもんいん
普門院 毘沙門天
(亀戸3-43-3)

「野菊の墓」で知られる伊藤左千夫や、幕末の名横綱のお墓があります。弘法大師ゆかりの寺をめぐる「御府内八十八ヶ所めぐり」の40番目の札所です。



亀戸七福神

ご開帳期間 ※寺社により期間が異なるのでご注意ください。
 東覺寺1月3日(水)まで、常光寺1月15日(月)まで
 その他1月7日(日)まで
 香取神社・天祖神社 9:00~17:00
 その他 9:00~16:00

とうかくじ
東覺寺 弁財天
(亀戸4-24-1)

江戸時代に「亀戸不動」として賑わい、明治34(1901)年に覺王寺と合併。弘法大師ゆかりの寺をめぐる「御府内八十八ヶ所めぐり」の73番目の札所です。

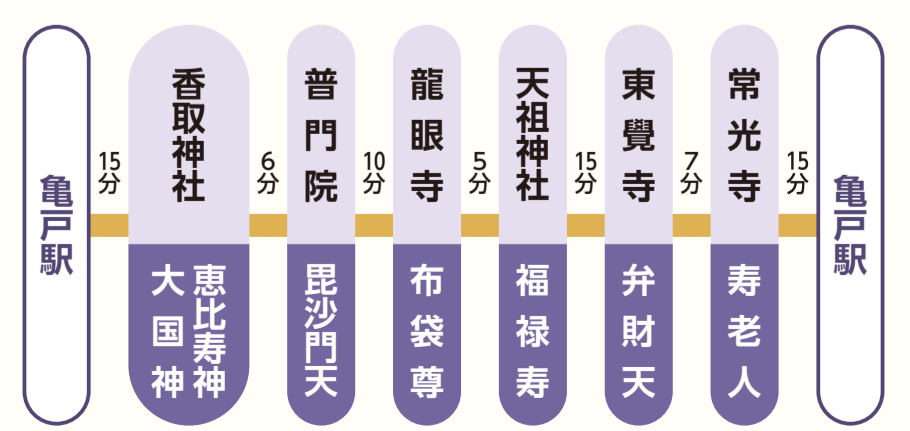


じょうこうじ
常光寺 寿老人
(亀戸4-48-3)

本尊の阿彌陀如来像は行基の作と伝えられ、江戸時代の行業の一つ、「六阿彌陀めぐり」の6番目の霊場として栄えました。



亀戸七福神めぐりルート例



どこから参拝しても数日に分けても問題ありません。時間は目安です。ご自身のペースでめぐりましょう。